

平成27年度第2回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1. 開催日時 平成28年3月9日(水) 19時00分から20時30分まで
2. 場 所 四国中央市保健センター 1階 集団検診室
3. 出席者 (会長)大西 誠治 (副会長)西山 由美子
(委員)井原 司、大西 裕之、鎌倉 裕基、鈴木 千代子
新田 浩介、藤田 英樹、
(事務局) ボランティア市民活動センター 星川 隆志 センター長
職員 山内 鈴代
市民交流課 金崎 佐和子 課長、星川 潤
守屋 伸康、水田 隆史
4. 傍聴者 0名
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 議事
 - ・ ボランティア市民活動推進計画(7章・8章)について(報告)資料
 - ・ ボランティア市民活動センターについて(報告) 資料
 - ・ ボランティア市民活動センターの開館日・時間について 資料
 - ・ ボランティア市民活動センターの講座・講演会について 資料
 - ・ その他
 4. 閉会

6. 会議録

発言者	発言内容
事務局長	<p>定刻になりましたので、ただいまより平成27年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を開催いたします。</p> <p>会長より開会にあたりご挨拶いただきたいのでよろしく申し上げます。</p> <p>会長挨拶</p>
会長	<p>それでは次第に沿って進めてまいりますので、忌憚の無いご意見いただき、活発な話し合いになりますようよろしく願いいたします。</p> <p>まず議事1. ボランティア市民活動推進計画(7章・8章)について事務局より報告お願いいたします。</p>
事務局	<p>(四国中央市第2次ボランティア市民活動計画7章および8章の現状について説明)</p>
会長	<p>今の説明についてご質問、ご意見ございませんか。</p> <p>私からですが、先般開催されました地域コミュニティ活性化事業モデル事業の発表会ですが、私も出席させていただきました。モデル地域の発表ということで、モデル地域の方々が多く来られていたと感じましたが、一般の方が少ないよう感じました。住民の事業発表会自体が初めてで市内に浸透していないことや、会場の収容数もあるが、もっと周知して一般の来場者を増やすほうが良いと思います。委員の皆さんは発表会があったのはご存知でしたか。市報には掲載していましたか。</p>
事務局長	<p>市報には掲載しておりましたが、来年度は更に広報に力を入れたいと思います。</p>
会長	<p>あれだけの人が集まっておられたので、熱気がすごかったです。</p>
副会長	<p>コスモテレビで放映されている事業ですか。</p>
事務局長	<p>最近、コスモテレビでも放映され始めましたので、是非見ていただければと思います。</p>
会長	<p>他にご意見ございませんか。井原委員いかがですか。</p>
委員	<p>発表会はこういった方が発表されたのですか。</p>
会長	<p>第2部は地域コミュニティ活性化事業のモデル地区3地区です。</p>
事務局長	<p>第1部はあったかなまちづくり活動支援事業の補助団体です。この補助金は以前からあったのですが、今回初めて事業発表をしていただきました。</p>
委員	<p>わかりました。地域のコミュニティだけでなく、市内の各種団体といわれる目的を有するコミュニティが一堂に集まれる機会が欲しい。そこで意見交換をすることで、お互いが補完し合える関係や、様々な交流が生まれると思うので、行政は大変だとは思いますが、頑張るとりまとめいただいて、年に1回でも開催して欲しい。分野別などの一部分はあったりと思うが、全体というのを検討していただきたい。</p>

事務局長	少し違うとは思うが、ボランティア同士の交流を深めるボランティア交流会は年に一度、ボランティアセンター主催で開催されている。
委員	難しいとは思うが将来的に市全体で開催を検討していただきたい。
会長	その他にございませんか。無いようですので議題2に移ります。 ボランティア市民活動センターについて事務局より報告お願いいたします。
事務局	[ボランティア市民活動センターの現状と今後の運営方法について説明]
会長	現在事務局よりボランティアセンターのハード面と平成29年度以降の管理について報告いただきました。これについて質問ご意見ございませんか。
委員	センター管理について単年度毎の委託契約に変更とのことですが、先のこと でまだはっきりと分らないと思うが、具体的にどういった相手と契約するつもりか。
事務局	現在のところは、現状の社会福祉協議会と継続したいと考えています。 ボランティア推進計画に将来的には民間団体に管理を任せると記載されていますし、その方が望ましいと考えますが、今現在実績やノウハウがある組織が市内に見当たらないので、随意契約の様な形になるが社会福祉協議会が適任と考えます。
会長	毎回指定管理者を募集していると思うが、その時は何社候補がいるのか。
事務局	ボランティアセンターについては、募集をかけずに指定管理者を決定しています。
事務局長	全国的に公開し、募集をかければ、センターを管理するノウハウを持った組織はありますが、四国中央市に地縁がない状況で上手くセンターを運営できるかと考えますし、現在構築されているセンターと社会福祉協議会との繋がりも切れてしまいますので、現状では社会福祉協議会に代わる組織は無いのではないかと考えます。
会長	分りました。今後の庁舎の再編次第では建屋も含めた指定管理になるかもしれないし、機能面だけの委託契約になるかもしれないということですね。
事務局長	なかなか施設全体を管理する指定管理という形にはならないとは思いますが。
委員	資料 の数字について教えてください。この数字は何を指しているのか。
事務局	マッチングの数字です。ボランティアをして欲しい人とする人などを繋いだ件数です。
委員	問合せとかも含めてですか。
センター長	ボランティアと利用者とを繋いだ実績です。
事務局	訪問者数や問合せを含めると、もっと大きい数字になります。

会長	ちなみに資料 のイベントという部分はイベントの主催者が依頼に来ているのか、芸達者な人がイベントを手助けしますよと来ているのか。どちらなのか。普通に考えればイベント主催者から人出が足りないので手伝いしてくれる方いませんかということだと思うが。
センター長	主催者側からのお手伝いお願いしますという話が多いです。
会長	普通に考えれば主催者の横の繋がり、誰か手伝ってくれということになりそうだが、こういった募集もあるんですね。
委員	資料 の環境という項目はどういったことでしょうか。
事務局	清掃などの環境美化ですが、今回のマッチングは清掃活動の依頼でした。
委員	教育という項目は手話教育だけで4件ですか。
事務局	手話教育です。
委員	この数字を見ると、教育分野からの関心は薄いように感じられますね。
センター長	これは、あくまでボランティアセンターを経由した数字ですので、教育現場がそれぞれの団体とネットワークができていれば、ここに数字が出てきませんので、一概にこの数字を見て関心が薄いと考えるのは難しいと思います。
会長	センターを経由しないことが多いのでしょうか。
センター長	そう思います。
会長	先程のイベントの手伝いの話もなんですが、困った時は自分たちのネットワークの中で解決すること多いですね。こういう場合はマッチングにカウントされませんか。
センター長	センターを経由していない場合含まれませんが、センターに登録している団体にはできるだけ連絡をお願いしています。
委員	この資料 のマッチングは団体と団体のマッチングですか。
事務局	内容によっては、個人の場合もございます。おさがりバンクは基本的には個人の要望を団体に繋げるようになります。
委員	例えば私が勤める、四国中央医療福祉総合学院に清掃をお願いしますと声を掛けたが、行ける人はいませんでしたという場合、これはマッチングに入るのでしょうか。
事務局	この表はマッチングが成立して計上するようになっております。
会長	他にございませんか。無いようでしたら次の議事に移ります。ボランティアセンターの開館日と時間についてです。前回から宿題をいただき、考えてくるようにとの事でしたが、まず事務局説明をお願いします。

事務局	(配布資料 について説明)
会長	開館日と時間について、前回からの宿題なので、副会長より順にご意見頂戴できればと思います。
副会長	スタッフは交代で休んでいるのですか。
事務局	スタッフは3名でローテーション勤務しております。
副会長	全員フルで出勤されていないのなら、現状のままの休館日ではないかと思います。開館時間も仕事帰りに来られる方のことを考えると今のままでいいと思います。
委員	開館時間については、現状で良いと思います。 祝日はスタッフのことを考えても休みでいいと思います。
委員	祝日の業務量が少ないのであれば、半日閉めてもいいのではないかと思います。土日も変則的に17時までの日、14時までの日としても問題無いのではないかと。
委員	四国中央医療福祉総合学院の学生委員会で議題に挙げてみましたが、あまり認識されていないこともあり、現状のままでいいのではないかとの意見になりました。 個人的には、福祉のマッチングが多い実情で、福祉施設が不便で無いのなら今のままでいいと思います。
委員	開館時間は自分自身も仕事後、お世話になったことがあるので今のままでいいと思います。電話転送ができるようになったのなら、なおさらこれで良いと思います。 休館日についても今のままでいいと思っておりましたが、話を聞いて祝日ぐらいは休みにしてもいいと思いましたが、変則的に開館するのでもいいのかなと思いました。もし祝日が休館になれば、祝日の翌日は開館でいいと思います。
委員	資料を見ると、土日祝の利用が圧倒的に少ないのが分かりました。僕自身利用したのは土日だったと思うのですが、休日にもっと多くの利用者がいると思っていました。スタッフの確保などを考えれば、日月休みでもいいのではないかと思います。 時間も仕事帰りに寄れるということは大事であるし、毎日18時30分までなら都合がいいのは分るが、いつもその開館時間でないといけないということではなく、例えば週の半分以上が15時終わりでもいいと思います。 現在はスタッフがセンター内で人が来るのを待つのが仕事だと思うが、開館日や開館時間を削減することで、開館時にスタッフを増やすことができるのであれば、スタッフが外に出て調査をしたり実態を把握したりできれば、よりボランティアの推進に繋がるのではないかと思います。

委員

皆さんの意見と大変わりはないのですが、そもそも月曜日休館の根拠が分らないです。お話を伺ったら、他市では日曜休館の所もあると聞きました。日曜と月曜休館にする、しないの差や理由があるのなら現状のままでいいが、特段無いのなら変更も検討したらいいと思います。ただ利用者視点からの考えと、今皆さんが話しされたとおり、スタッフ側からの視点で考える必要もあると思います。そうすれば、せめて祝日は休みにしてあげたらいいかなと思います。変更するならしっかり周知すれば、利用者からも苦情はないと思います。

自分も経営者だが、やはり働く人が気持ちよく働ける環境を作ってあげるのは大切なことであり、育児する方も働きやすい環境を作ってあげれば人材も確保しやすいのではないのでしょうか。

業務を増やすのであれば、スタッフを増やしてもいいと思います。

休みの日をスタッフ目線で考えるのであれば、逆に開館時間は利用者側視点に立って、現状のままでいいと思います。

会長

休館日については、祝日は休んでいいと思います。開館時間についてだが、平日は今のままで良いが、土日は来場者の時間帯や使用用途によるが、少し早めの9時からの開館や、丸1日あけておかなくて半日でも良いし、周知さえ徹底しておけばクレームは無いと思います。登録団体は年齢層が高めなので、朝の開館が早い方がよいと思うし、土日のイベント時に準備忘れがあった場合早めの時間に開館していると助かります。

この件については、ここで決定する必要がありますか？

事務局

ここで決定する必要はありません。いただいたご意見を参考に事務局で決定いたします。

事務局長

前回いただいておった、講座の土日開催の意見とも整合性を取りながら検討します。

会長

講座は講座で考えて、センターの開館日じゃなくてもいいと思います。

センター長

3月末で臨時職員が1人辞めることとなり、現在の勤務時間でホームページを管理できることを条件に募集をかけたのですが、応募者がいないというのが現状です。土日祝勤務や勤務時間が18時45分など、あまり良い条件ではないのかもしれませんが、なので、スタッフの労働条件を少し考慮して検討していただければと思います。

土、日曜日開館についてですが、決定した頃には、仕事をしている人でも使いやすいようにということで、土日開館としましたが、センター長になって、現状は少し違うと感じております。

会長

すみません、資料のその他とはなんですか？

センター長

ちょっとした問合せです。

ローテーションで職員配置をしているが、先日どうしても都合がつかず私が17時以降センターに座っておりました。その時は来場者、電話ともに0件でした。PR不足という面もあるかもしれませんが、そういう現状も把握いただけたらと思います。

会長	<p>それでは、事務局にはそれぞれの意見を考慮して検討していただけたらと思います。先程の意見のとおりスタッフと利用者との両方の都合を考えていただければと思います。利用者に良い条件でも、運営するスタッフがいなければ意味がないです。</p> <p>先程のスタッフが外に出ていくことも面白いですし、スタッフのスキルアップにも繋がると思います。</p>
事務局	<p>本日いただいた意見は平成29年度の委託契約に変更する時から反映させたいと考えております。</p>
委員	<p>ボランティアセンターのスタッフは必ず18:45までいないといけないのですか。</p>
センター長	<p>パート職員は勤務時間の関係上10時～15時になっています。スタッフの雇用形態が嘱託、臨時、パートで、嘱託と臨時に関してはどうしても10時～18時45分となる。土日の開館時間ならパートさんも1人で勤務可能なので、土日出勤してもらうこともあります。</p>
委員	<p>スタッフの働きやすさですが、スタッフをもう少し増やして時差出勤や交代勤務を用いれば、育児中のお母さんも働けると思います。</p>
会長	<p>それでは事務局で取りまとめて検討してください。</p>
事務局	<p>議事 ボランティア市民活動センターの講座・講演会について、事務局説明をお願いします。</p> <p>(配布資料 について説明)</p>
会長	<p>やってもらいたい講座や講演会も含めて、何かご意見ございませんか。</p>
委員	<p>ボランティア養成講座の現状のメニューは、生きていく中で必要な部分なので、維持して欲しい。</p> <p>これを維持して他のメニューを増やすことはできるのか。</p>
センター長	<p>資金次第です。このメニュー以外でも要約筆記は社会福祉協議会で講座を開いています。</p>
委員	<p>個人的には漠然とだが若い人が繋がれる様な講座を開いて欲しいです。</p> <p>先程の話にもありましたが、スタッフを募集しても集まらないのや、四国中央市にボランティアをする人が少ないのもそうだが、センターや行政が悪いのではないと思います。仕組みに原因もあると思うが、ボランティアは気持ちが無い人がやっても仕方ない、気持ちがある人がやることだと思います。損得でしか考えられない人はボランティアをしません。中にはお付き合いでボランティアをしている人もいるとは思いますが。若い人達がまちを担う必要があるが、僕達の世代にはボランティアをするという意識は薄いと思います。この世代が、年を重ねた時にボランティアで活動している様々な組織がどうなっているか心配です。</p>
センター長	<p>手話は、テレビで取り上げられてイメージが良い時は若い受講者が増えるが、他の講座は若い人の受講は少ないです。ボランティアグループ自体が高齢化している。</p>

- 委員 新しいボランティアの発掘も大切だが、ボランティアをしている人がボランティア疲れしないような仕組みも必要ではないかと思います。継続しやすい環境整備して、ボランティアをしている人が楽しく活動できる環境を造れば、それを見た人もボランティアに興味を湧くのではないのでしょうか。今の様にボランティアをしている人が疲弊していたら、周りの人はそれを見てボランティアを敬遠していくと思います。楽しくボランティアを続けられる講座があれば聞きに行きたいです。
- 委員 それは、先日テレビでしていましたが、東日本大震災で東北に行っているボランティアを支援する施策が必要というのと同じですね。先程の若い世代はボランティアに関心が薄いという話しは、とても奥が深い話ですね。若いボランティアの獲得が必要ではありますが、紐解いていけば修学前や小学校からの教育が重要であり、それは制度的問題で良い官僚、良い政治家がいて良い制度ができると思うので、自分達有権者はしっかりと投票に行って、良い政治家を生むということが必要だと思います。
- 会長 私は、川之江北中学校の中学校評価員も務めておりまして、そこで出てくる生徒、保護者、教師それぞれ向けのアンケートでは、毎回ボランティアをしたいという数字が増えていますが、実際にはボランティアをできていません。学校の授業の問題とかもあると思うが、実際に何をしたら良いのかが分からないのだと思います。そこで話しに出たのが、地域で行事をしている時に学校に声をかけようかということです。それは地域と学校が直接の話しですが、ボランティアセンターにもそういう責務はあるのではないかと思います。学校側からボランティア無いですか？という声かけは無いと思いますので、センターから学校に投げかけするのも1つの案だと思います。講座と講演会ですが、せっかく福祉の専門家がこのメンバーにいるのだから、福祉介護の養成講座をしてもらっても1つの案ではないでしょうか。老人介護の問題ですが、いずれ介護に直面する世代が多くいると思うので、介護の実態ってこうだよという研修会があってもいいのではないのでしょうか。災害ボランティア研修会の時に思ったのですが、防災士の講座がないので、安全危機管理課とも協力して講座をしてはどうでしょうか。

委員 先程会長からも福祉分野の講座についてお話いただいたのですが、四国中央医療福祉総合学院でも実際に講座をしておりました。ですが、主たる教員が辞めてしまい消滅してしまいました。例えば川之江の商店街で、手づくり遊び教室を月1回ペース開催し、パン作りをしたりしていましたが、子育てフェスタに手伝いしたりしてました。高齢者に関しては、独居という観点から1人暮らしの人に専門学生が自宅訪問をしている学校もあります。介護福祉から小学校にベッドや車椅子を持ち込んで、福祉機械の使用体験を試みたりしました。また阪神淡路大震災の時に問題になったのが、ボランティアスタッフの食事や寝床が無いことです。私は当時ボーイスカウトもしていたので、大阪の梅田からリュックに自分の食料などを持参し、歩いて神戸にボランティアで入りました。ボランティアの経験などを伝える講座があってもいいと思います。災害時の食事づくりや、ロープワークなどもおもしろいので、ボーイスカウトと協力して小中高校生を対象に講座をしてもいいのではないのでしょうか。私の結論としては、ボランティアは物凄く幅が広いのですが、活動は個々がバラバラにしているので、我々はその情報を広く持っておいた方がいいと思います。それを知って推進協議会で何ができるのかを検討したり、講座などを公募したりしてもいいと思います。

会長 他ございませんか。ありがとうございました。
これに関しては、皆さんの意見を反映させ土日開催も検討していただければと思います。
その他何かありませんか。

事務局 [みんなのボランティア・市民活動ハンドブックの紹介]

委員 先程も話題に出て、こちらの冊子にも出ている災害ボランティアセンターはどういうものですか。

事務局 大きな災害が当市で起こった場合に、市の災害対策本部が災害復旧作業にボランティアの力が必要だと判断した場合に、社会福祉協議会に依頼して災害ボランティアセンターを設置し、市内・外からボランティアを受け入れて差配する仕組みです。なので、現在何処にあるというセンターではありません。

委員 四国中央市内で災害が起こったときに四国中央市に設置するのですか。

事務局 四国中央市内で起こったときです。

委員 他市が被災した時に、事前にこちらで登録しておけば、派遣してくれるという制度ではないのですか？

事務局 そうではないです。こちらでは被災地にボランティアに行く時にボランティア保険に加入することはできるが、被災地での作業を振り分けて紹介するのは、被災地のボランティアセンターになります。

事務局長 災害ボランティアセンターの設置の流れや、災害ボランティア事前登録についてもこの冊子で紹介されています。

会長 東日本大震災でも被災地では各市町村が災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアと作業のマッチングをしていましたね。

事務局 被災地でボランティアをしたい人は活動したい市町村のボランティアセンターに行って作業を紹介してもらうことになります。

会長	私、この作業したいです。というよりかは、この作業してください。って、作業に偏りが無いようにするのも災害ボランティアセンターの役割ですよ。この冊子は何処に置いてありますか。
センター長	この冊子はボランティアセンター登録団体・者や公民館などの各種施設、民生委員の役員などに配っています。
会長	学校関係は？
センター長	市内学校にそれぞれ1部配っています。 100部強は余力があるが、増刷には高額な予算が必要なので今はできません。 ボランティアセンターから、お知らせですが、ホームページを変更するようになりました。現在は文字も小さく見づらいと意見もいただいているので、そういった部分を対応して6、7月頃には運用開始できると思いますので、お楽しみにしてください。
会長	他に無いようでしたら、本日出た意見を今後のセンター運営にいかしていただけたらと思います。それではこれで平成27年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を終了いたします。